

8月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10 山の日	11	12	13	14	15	16
17 0歳児乳児 検診	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

保健師より

今年の梅雨は長く、不安定な天候が続きました。やっと梅雨が明け夏本番です。熱中症や、夏バテに気を付けながら過ごしていきたいと思います。

そして新型コロナウイルス感染症も、まだまだ予断を許さない状況が続きそうです。引き続き感染症予防にも気を配っていきます。

～子どもの虫刺され～

虫刺されは一種のアレルギー反応で1～2日後に大きく腫れる遅延反応が起こる場合が多くあります。掻きむしるととびひになってしまうことも。虫に刺されたら、まずは患部をよく洗い、市販の抗ヒスタミン剤が配合されたかゆみ止めを使ったり、冷やしたりすることでかゆみを抑える効果があります。

7月の感染症
突発性発疹 1名

○0歳児乳児健診 8/17(月) 9時半～
つぼみ組のみなさんは当日なるべくお休みにならないようご協力お願いいたします

August 2020

2020.8.1 発行

small alley post

東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように!』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

8月の保育主題

『日だまりに つどう笑顔』

お彼岸やお祭りなど、人々が集まり、熱気の溢れる様子

「ダンゴムシ」

雨上がりの夕方、お迎え後に芝生で遊んでいたKちゃんと出会しました。茂みの中にしゃがみこんで地面に目を向けてます。そっと上から覗いてみると、雨上がりで出てきた大量のダンゴムシを手のひらに集めていました。「見て！」と彼女の手のひらをみるとダンゴムシたちがのそのそ動いています。それを見た瞬間は正直ゾッとしました。実は私、大の虫嫌いだからです。（保育士になりたての時はアリすら触れないほどでした。）

しかし、彼女のダンゴムシを握る手は柔らかく、温かさを感じました。肩の力がグッと入り、夢中になって集めるKちゃん。ギュッと握っているように見える拳の中には空洞があって、ダンゴムシのための小さな部屋ができています。ダンゴムシが潰れないように力加減するその姿は今まで彼女がダンゴムシとどんな関わりをしてきたのかが写しだされているようでした。きっと手のひらのダンゴムシが全て動かなくなってしまったこともあったでしょう。動いているダンゴムシに愛着がわき、大切にするつもりが自分の手のひらで動かなくなってしまった。その時うまれたもどかしい感情がずっと残っていて今のKちゃんの手の握り具合になっているんだと思いました。

自粛期間中にあげた動画にでてくるねずみに対してもそうです。ハンカチねずみを私が手の中で動かしているとKちゃんはそっと優しくなでます。本当にハンカチねずみに命が宿っているような、愛おしい気持ちで触られ、ハンカチねずみも喜んでいるような気がしてくるのです。他の子が雑に扱うものならば「だめ！優しくなでて！」と触り方までレクチャーし、私にも「一緒に星見せてあげて！散歩させてね」と夕方になると必ず頼みにくるほどです。

大人から見たら、ただダンゴムシをとっているだけの行為かもしれませんが、子どもにとってはダンゴムシ一つとっても様々な感覚を刺激され、学びと繋がっていくのだと改めて感じる場面でした。大人が伝えなくとも毎日の遊びのなかで様々なことを感じとっているんですね。そしてKちゃんの心の中で温められている生き物への感情や想像の世界にこれからも一緒に楽しんでいきたいです。

渋谷東しぜんの国こども園 園長
名古屋 彩佳

保育エピソード 「音との出会い」

BUTTERで紘良さんのオトキャッチのワークショップがあった。紘良さんがオトキャッチについて説明をした後、実際に杖を使って壁や椅子を叩き始めると体を前のめりにしながら耳をすませる子どもたち。そして、いざ杖が自分たちの手に渡ると"まだかまだか"とスタートの瞬間を待ちわびる。紘良さんの「オトキャッチ、始めるよ」の声とともに様々な方向に皆が散っていく。そんな中、立ち上がったもののその場に立ちすくむTさん。私は、「Tちゃん、行こう」と声をかけた。私の後ろを歩くTさんの姿を確認しながら、椅子の足を杖でそっとたたいて音を出す。すると、Tさんは私に続いてそっと椅子の足をたたき、カンカンと音を鳴らす。椅子の足をたたいた後、Tさんは一度紘良さんが杖で叩いた場所に順に向かっていき、一箇所ずつ音を確認していく。そして次第に表情も和らいでいき、自分で音と出会えそうな場所を導きだし、音を確認始めた。Butterでの音探しを満喫した後、今度はピロティ、カフェ、そして芝生へ。さっきまでの表情がウソのように晴れやかな表情のTさん。何か見つけるたび、「あ、あれは!?!」「分かった!!」と一目散に駆け出していく。杖でたたいたり、杖を滑らせたり、様々なものに躊躇なく杖を当てるTさんだった。

始めは少し不安そうにしてたが、最後には音を探すことに夢中になっていたように感じた。思ってもみなかった音の発見だったり、"こんな音が出るんじゃないか""あそこをたたいたらどうなるだろう"と自分で予想を立てながら確かめに行くことで、音との出会いを心から楽しんでいたように思う。オトキャッチの舞台は全て身近にあるもの、見慣れた景色なのに新たな出会いの連続だった。音というキーワード一つで日常をこんなにも楽しめるとは思わなかった。次回はどんな出会いがあるのか、楽しみだ。

今月のsmall alley play ground ピックアップスポット

目黒天空庭園 オーパス夢ひろば

〒153-0044 東京都目黒区大橋 1 丁目 9-2



池尻大橋駅から徒歩5分程度歩くと、高速道路のジャンクションをぐるりと回るような構造の変わった庭園があります。上から見ると、完全なドーナツ状になっています。敷地が広く、1周するにも結構時間がかかります。公園なので区画ごとに季節の植物が植えられており、ベンチがあって一休みできます。一部スロープ状になっていて、見晴らしがとても良いポイントがあり、夜間も開放していて夜景が綺麗なのだそうです。「夢ひろば」なんて言っていますが、私が訪れた時は、週末の昼時にもかかわらずあまり人もおらず、穴場なのかな?という印象でした。少し歩けば目黒川にも近く、散歩するには良い場所なので、お子さんと一緒にふらりと行ってみたいですね。